

子宮頸がん自己採取HPV検査キット

単回使用

電子線滅菌済

## ホームスミアセット® プラス

一般医療機器 届出番号:13B3X10319000002

日本人女性向けに扱いやすく抵抗感の少ない医療機器として開発された日本製の自己採取器具です。「検診が怖い」「忙しくて検診に行けない」といった方に対し受診のきっかけとなりうるツールです。

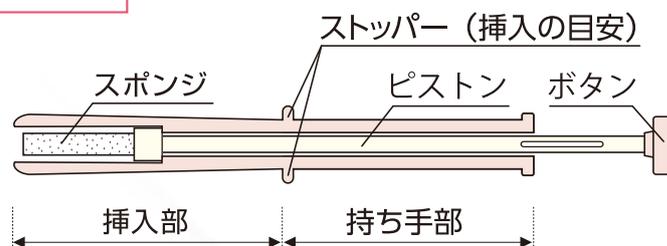


日本製

安定供給

ロングセラー

スポイト



一般的なボールペンとのサイズ比較



8mm径の細く柔らかいスポンジを採用

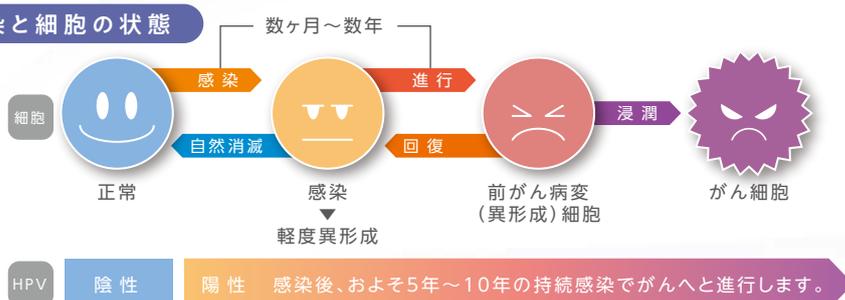
## 子宮頸がんの主な原因はHPV(ヒト・パピローマ・ウイルス)です

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が原因とされています。HPVは主に性交渉によって感染しますが、ほとんどの場合は自己免疫力で消失します。しかし、感染が持続すると、がんへ進行することがあります。

従来は発症のピークが40~50歳代でしたが、近年では20~30歳代の若い女性にも増加しています。子宮頸がんは、早期に発見することができれば、がんになる前に予防・治療することができるため、定期的な検査がとても重要です。



## HPV感染と細胞の状態



※ 採取した細胞は専門の検査機関で検査をします。本セットのみで検査結果を判定することはできません。

ホームスミアセット® プラスの使い方

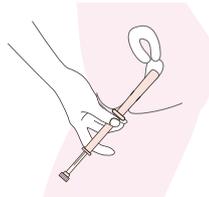
使い方はタンポンに似ているのでむずかしくありません。

妊娠中、または妊娠の可能性のある方は使用しないでください。



STEP 1 細胞を採取します

- 1 リラックスして、楽に挿入できる姿勢を選びましょう。持ち手までスポイトをゆっくりと挿入します。挿入部がすべて腔内に入るように、ストッパー部分が膣口に当たるまでゆっくり挿入してください。



POINT!

- 2 ボタンを押し、ピストンの先端からスポンジを腔内に押し出します。



- 3 腔壁に沿ってゆっくりと5~6回スポイト本体を回して、細胞を採取してください。

スポイトをぐるりと5~6回回す



\*採取する細胞の量によって、結果が大きく変わる場合がございますので、あせらずゆっくりと採取してください。

\*スポンジで腔内を軽くこするため、まれに少量の出血がある場合がありますが心配ありません。

STEP 2 スポイトを引き抜きます

- 1 スポイトは一気に引き抜かず挿入部が半分出るくらいで、一旦とめます。

完全に引き抜かず少し引いた所でとめる



- 2 一旦とめた所で、ボタンを「カチッ」と音がするまで引き、スポンジをスポイト内にしめてから、スポイトを完全に引き抜きます。

カチッ



注意

挿入部が全部入ったままでボタンを強く引くとスポンジがはさまって切れるおそれがあります。

万一スポンジが切れて腔内に残ってしまった場合は、産婦人科などの専門医を受診してください。

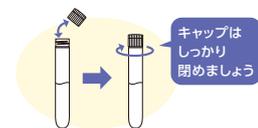
STEP 3 細胞を回収します

- 1 試験管のキャップを開け、スポイトを試験管に入れてスポンジを出します。スポイトを10回程度上下させ、スポンジに付着した細胞をしっかりと洗い落としてください。最後に、試験管の縁にスポンジを押し付け、含んだ保存液をよく切ってください。



採取後は、すぐに試験管の中に検査物を洗い落としてください。

- 2 保存液が漏れないよう、しっかりとキャップを閉めてください。



キャップはしっかりと閉めましょう

- 3 試験管をチャック袋に入れ封じます。提出するまで冷蔵庫に保管しておきましょう。

\*腔内に挿入したスポイトは、再び使用できません。

\*処分するときは市町村のゴミ区分（プラスチックごみ）にしたがってください。

商品名	品番	入数	単位	定価	JANコード
ホームスミアセット®プラス	I10028	1セット	袋	オープン価格	4517850001133

あしかメディ工業株式会社

本社: 〒113-0034 東京都文京区湯島4-9-12 TEL 03-3811-0234 FAX 03-3812-9284  
 綾瀬事業所: 〒120-0003 東京都足立区東和3-5-4 TEL 03-3620-0234 FAX 03-3620-0877  
 白井事業所: 〒270-1403 千葉県白井市河原240-17 TEL 047-492-4056 FAX 047-491-5517  
 yes@asicamedy.co.jp

